

## 第6学年 学級活動(2) 指導案

平成21年11月12日(木) 2校時 6年教室

T1:学級担任

T2:栄養教諭

- 1 題材名 「食事のあいさつの意味を考えよう」  
(キ) 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2 題材設定の理由

児童はこれまでの各教科等の学習を通し、好き嫌いなく食べるようになってきている。しかし毎日給食を食べられることが当たり前ようになっており、食事のあいさつが形だけになっていたり、はしの持ち方や食べる姿勢などの食事マナーがよくない児童もみられる。

児童へのアンケート調査によると、給食ができるまでにお世話になっている人は、①調理員(栄養教諭を含む) ②生産者、友人 ③配送者、先生、の順であり、給食ができるまでにお世話になっている物は、①机やいす ②文房具 ③調理器具、の順であった。また、食事マナーについては必要でありいつもまたはときどき守っている、感謝の気持ちは、いつもまたはときどき感謝している、と全員が答えている。一方、食事マナーの内容については、①器を持つ ②残さず食べる、の順であり、あいさつや正しいはしの持ち方を挙げている児童はそれぞれ1名ずつだった。

食糧自給率が平成20年度で41%である今、目の前に用意された給食から食に関わる人々に感謝し、物を大切にすることを培うことは大切である。

そこで、給食ができあがるまでにどのような人や物がかかわっているのかを考えたり、栄養教諭から調理員や生産者の方々が日頃努力していることや子どもたちへの食べることにに対する願い、食事マナーの意味などを聞いたり、望ましい食事マナーについて話し合ったりする活動をとおり、心を込めた食事のあいさつや食事マナーを守ることで、感謝の気持ちを表して食事をする児童を育てたいと考え、本題材を設定した。

### 3 『ふくしまっ子食育指針』との関連

食事のあいさつの意味を理解させるとともに、食に関わる人に感謝して物を大切にすることを育てる。

### 3 指導計画

事前指導	給食時：給食を楽しく食べるように雰囲気作りをする。 事前調査：給食でお世話になっている人、感謝、食事マナーについて調査する。
本時	・給食の時間の過ごし方を振り返る。 ・食事のあいさつの意味を理解し、望ましい食事マナーのあり方を話し合う。(集団思考) ・感謝の気持ちを表すために、自分がこれからすることを決める。(自己決定)
事後指導	ワークシートを家庭に持ち帰り、学習内容を保護者に伝え感想を書いてもらう。 給食時：給食を食べる時に、感謝して食べるようにする。
他教科等との関連	国語科：「生き物はつながりの中に」 社会科：「長く続いた戦争と人々の暮らし」「世界の中の日本」 家庭科：「1食分の食事について考えよう」 給食：季節の野菜や地場産物を味わう献立・野菜の収穫の様子の掲示 家庭：食の授業ワークシートでの保護者の意見

### 4 本時のねらい

心を込めた食事のあいさつ、正しいはしの持ち方、食べる姿勢などの食事マナーを守ることが、感謝の気持ちを表すことにつながるということがわかり、感謝の気持ちを込めた食事のしかたを決めることができる。

- 食事のあいさつの意味がわかり、心を込めてあいさつをしようとする意欲を持つことができる。(関心・意欲・態度)
- 自分の食事マナーを振り返り、改善することを決めることができる。(思考・判断)

5 展開

段階	学習活動・内容	時間 形態	○教師のはたらきかけ ※評価		資料
			T 1 学級担任	T 2 栄養教諭	
活動の開始	1 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     食事のあいさつの意味を考えよう                 </div>	5分 一斉	○ なぜ食事のときにあいさつをするのかを問いかけ、活動内容に対する興味を高める。		
活動の展開	2 給食ができる過程を聞き、どのような人や物にお世話になっているか考える。 <予想される発言内容> ・調理をする人 ・農家の人 ・配達する人 ・食べ物 ・机やいす	5分 一斉	○ 板書し、調理をする人以外に多くの人々にお世話になっていることに気づかせる。 <説明内容> ① 献立を決める。 ② 野菜の育ち具合を聞く。 ③ 材料の量を計算して注文する。 ④ 材料を運んでもらう。 ⑤ 調理してわかる。 (給食を食べる。) ⑥ 使ったものを洗って消毒する。	○ 給食ができるまでの過程を説明する。	事前アンケート調査結果表 (別紙 p 1) 給食ができるまでの写真
	3 食事のあいさつと食事マナーの意味を知る。	5分 一斉	○ 説明内容を板書する。 <説明内容> ・「いただきます」は、「もらう」の丁寧語で、「他の命をもらう」こと。 ・「ごちそうさま」の「ちそう」はあちこち走り回ってたべものをあつめることで、「わたしのために、いろいろと用意をしてくださってありがとう」という意味を込めて「ご」と「さま」がついた。 ・食事マナーは、食事を準備した方への感謝の心を表したり、いっしょに食べる人がお互いに気持ちよく食べたりするためのルールである。	○ 後片付けは翌日の給食を清潔においしく作るために大切な仕事であることにも触れる。 ○ 事前アンケートの集計結果を提示し、食事のあいさつや食事マナーの意味を説明する。	事前アンケート調査結果表 (別紙 P2-3)

	<p>4 食事のあいさつと食事マナーについて思ったことや考えたことを発表する。</p> <p>5 自分たちでできる感謝の気持ちを表す方法を話し合う。          &lt;予想される発言内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心を込めてあいさつする。</li> <li>・給食をきちんと片付ける。</li> <li>・あじわって食べる。</li> <li>・食器をていねいに返す。</li> <li>・はしを正しく持つ。</li> <li>・よい姿勢で食べる。</li> </ul>	<p>5分 グループ</p> <p>15分 グループ</p>	<p>○ 食事マナーを守ることが感謝の気持ちを表すことにつながることに気づくようにする。</p> <p>○ 児童の意見が出にくいときは、食べる姿勢の他、はしの持ち方やはし使いにもマナーがあることを伝え、話し合いが進むように支援する。</p>	<p>○ 児童の発表内容を板書する。</p>	
<p>活動のまとめ</p>	<p>5 話し合ったことをもとに、自分のあいさつのしかたや食事マナーを振り返り、今日の給食からする実行する感謝の心を持った食べ方をワークシートに書き、発表する。</p>	<p>10分 個人</p>	<p>○ 給食での継続を促し、家庭でも食事を作っている家族の存在に気づかせ、家庭での食事でも実践できるようにする。</p>	<p>○ 給食の取り組みを励ます。</p>	<p>ワークシート</p>

※ 感謝の気持ちを込めた食事のしかたを考えることができたか。(発表)

※自分の食事マナーを振り返り、改善することを決めることができたか。(ワークシート)

7 資料等

- ・ワークシート
- ・給食ができるまでの写真
- ・事前アンケート調査結果表

8 板書計画

食事のあいさつの意味を考えよう

<給食にかかわる人など>

<給食ができあがるまで>

献立を決める

野菜の育ち具合を聞く

量を計算して注文する

材料を運んでもらう

調理してわける

教室で食べる

使ったものを洗って消毒する

<食事マナーとは>  
おたがいに気持ちよく食べるためのルール

<食事マナーには>

- ・食べ方
- ・残さない
- ・はしや器の持ち方
- ・食べる姿勢
- ・食器をていねいに扱う
- ・あいさつ

→いただきます=他の命をもらう  
 ごちそうさま=用意してくださってありがとう

<感謝の気持ちを表す方法>

- ・心を込めてあいさつする。
- ・食器をていねいに返す。
- ・給食をきちんと片付ける。
- ・苦手なものも食べる。
- ・あじわって食べる。
- ・はしを正しく持つ。
- ・よい姿勢で食べる。

めあて

### 1 給食でお世話になっている人・ものは

給食

### 2 食事のあいさつは

### 3 食事のマナーとは

### 3 学習感想と、きょうからわたしが実行すること



おうちのかたから ひとことおねがいします。

